

旧紳士服トラヤ(元山陰道産業株式会社)

[登録日]平成 29年 2月 3日

東本町2丁目8番地

正面外観



- ◆ 建築年代：昭和 7年
- ◆ 構造：鉄骨造一部木造 2階建
- 概要

旧紳士服トラヤ(元山陰道産業株式会社)は、「山陰道産業株式会社」の社屋として、昭和7年に建築されました。設計者は、明治から戦前にかけて活躍した建築家の成田光二郎氏で、「横田相愛教会(仁多郡奥出雲町)」などを設計しています。

外壁には来待石やタイルを、窓にはスチールを曲げた飾り窓をそれぞれ使用するなど洋風建築の意匠が垣間見えます。また、ブドウ・ヤギ・サル・子供などをデザインした来待石製のレリーフが全部で8枚縦に並び、非常に個性ある建物です。

外観はほぼ当初のままの姿を残し、外壁に刻み込まれた来待石製のレリーフなど、訪れる人を惹きつける独特の魅力があり、昭和初期の商業建築としてまちのランドマークとなる貴重な建物です。



特徴的な上げ下げ窓



ヤギやサル、子供などをデザインした来待石製のレリーフと飾り窓が特徴です。

南東面外観



位置図

